

☆戦争への道Ⅱ安倍政権。沖縄Ⅱ翁長さんの遺志を継ぐ。

日本を再び「戦争する国」に

◆安倍首相は「日本を取り戻す、美しい国づくり」をかかげ「教育基本法」を改悪し、また「防衛庁」の組織を「防衛省」に昇格させました。さらに「道徳」の教科化で「戦争のできる人づくり」を目指しています。

◆来年度予算の防衛費は五兆三千億円。米国の高額装備品（イーゼス・アショアなど）を購入する計画で、過去最大の金額となっています。

◆特定秘密法をはじめ安全保障関連法（戦争法）、共謀罪など戦争のできる法案を短期間で強行採決して成立させました。そして憲法九条を変えて、来年夏の参院選までに憲法改正の国民投票を実施したいと公言しています。

命を懸けてたたかった翁長知事の言葉は重い

◆8月8日、急逝された沖縄県の翁長雄志知事は、「歴史的にも現在においても、沖縄県民は自由、平等、人権、自己決定権をないがしろにされてきた。私はこれを『魂の飢餓感』と表現している」（国と争う辺野古訴訟の陳述で）。「沖縄の人口は全国の1.％しかない。その沖縄に『魂の飢餓感』を押し付けたまま、それすら忘れたように99％が安らぐ図は異様である」と言われました。「魂の飢餓」を押し付け、無関心でいた私たちは猛省しなければなりません。

全国各地から「新基地建設」阻止の仲間が結集

◆今、国土の僅か0、6％にすぎない沖縄に米軍基地の74％が集中し、それに伴う事件、事故が後をたちません。そのうえ「辺野古新基地建設」が進められており、これに反対する仲間が全国各地から連日、多数結集しています。

沖縄県民と連帯し、選挙を勝ち抜こう！

◆9月30日投開票の沖縄県知事選挙は新基地建設の是非を問う重大な選挙です。私たちは無理解、無関心でなく、沖縄県民に寄り添い新基地建設をさせないために、沖縄県民と連帯して県知事選挙を勝ち抜こう！（候補者は裏面参照）。

二〇一八年九月九日（日）護憲平和行進（通算619回目）

浜松市憲法を守る会 事務局 浜松市中区紺屋町三〇一―一五

★月例護憲平和行進 毎月第二日曜日・午後一時・浜松市役所正面玄関集合

☆航空自衛隊浜松基地へ要望書を提出します（裏面参照）。

☆航空自衛隊浜松基地へ要望書提出

- ◆日時 二〇一八年九月二十五日(火)午前一〇時三〇分
- ◆内容 「エアフェスタ浜松二〇一八の中止を求める」要望書提出
- ◆提出団体 浜松市憲法を守る会、県西部平和遺族会、社民党浜松総支部